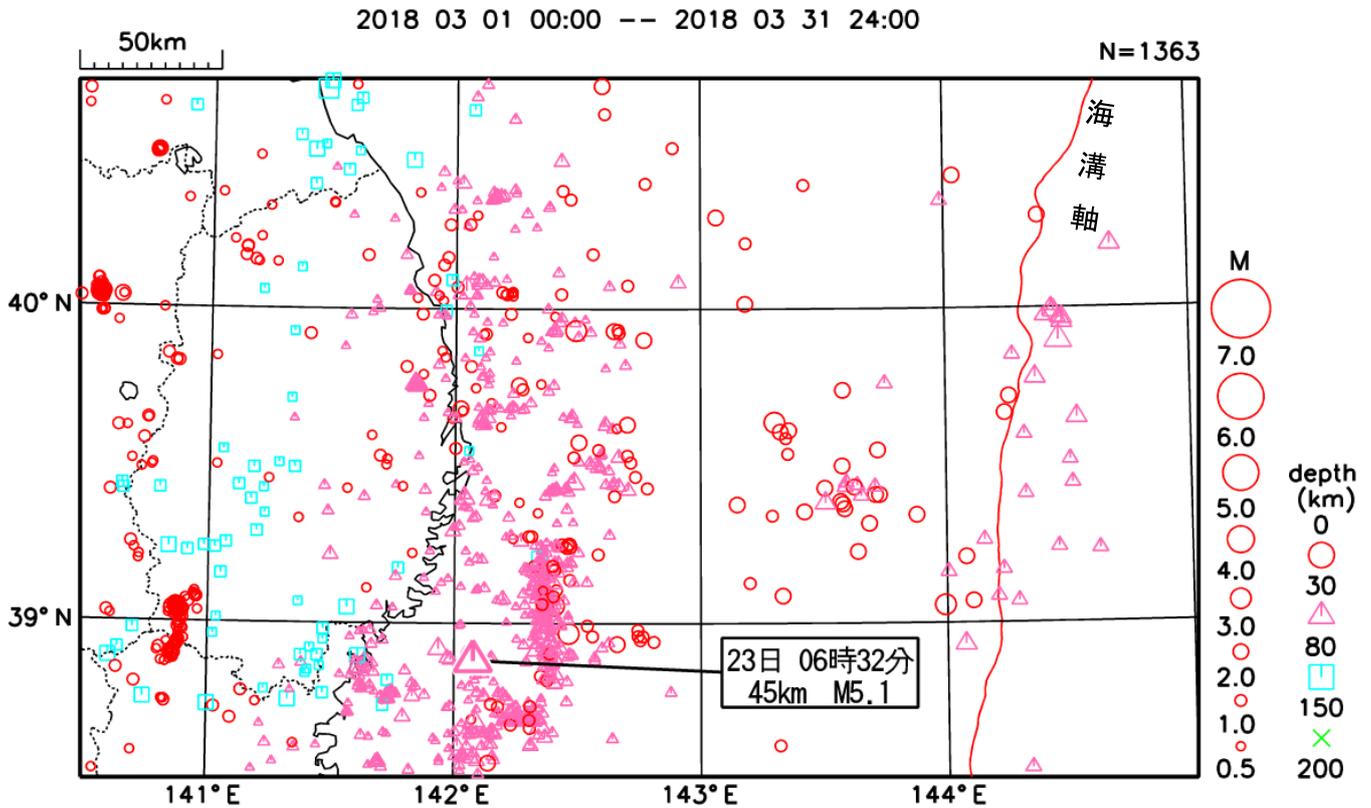


岩手県月間地震概況

2018（平成30）年3月

盛岡地方気象台

震央分布図



※吹き出しをつけた地震は概況でふれたものである。

【概況】

今期間、図の範囲内で観測した地震は1363回（先月980回）、岩手県内で震度1以上を観測した地震は13回（先月13回）であった。

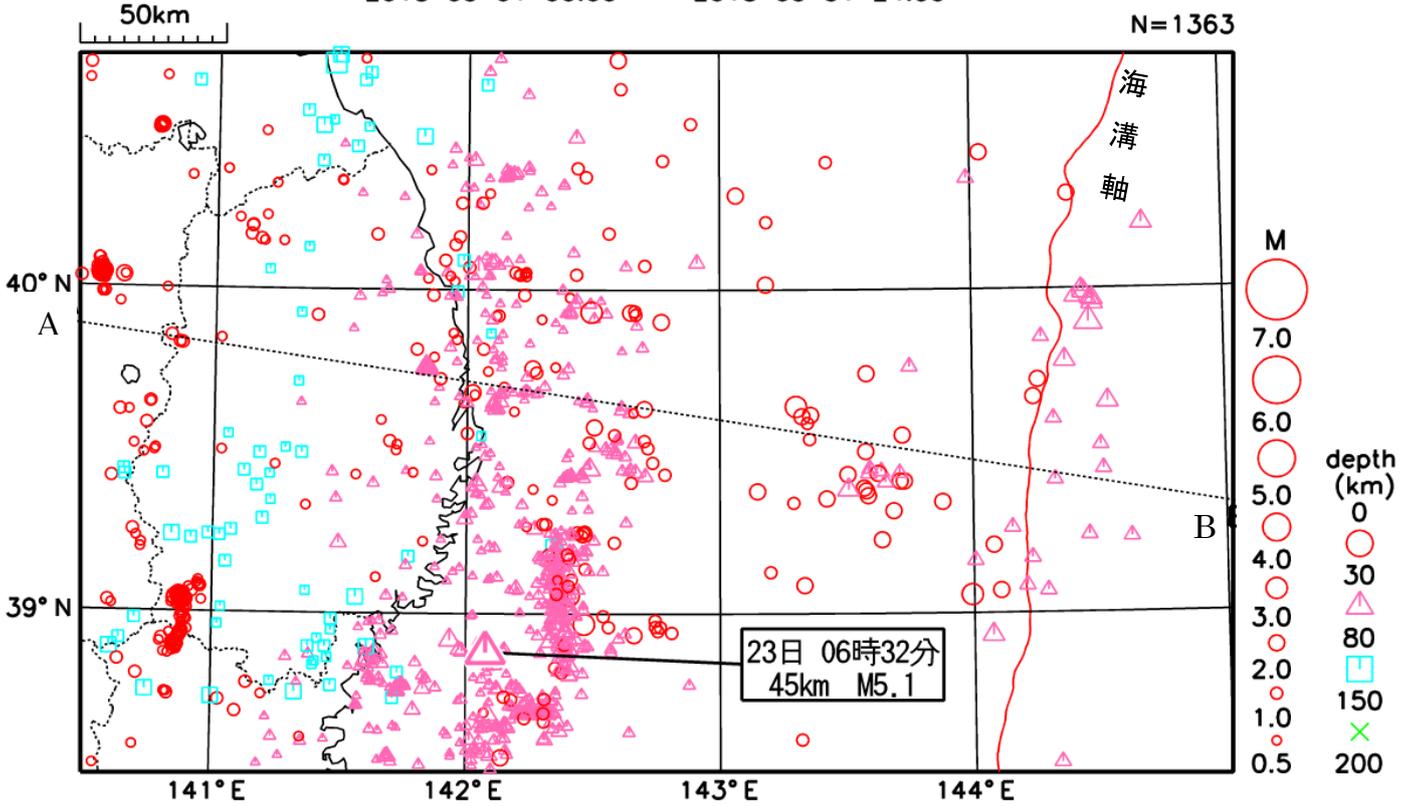
23日06時32分に宮城県沖の深さ45kmでM5.1の地震が発生し、宮城県で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方にかけて震度3～1を観測した。県内では、大船渡市、釜石市、一関市などで震度3を観測するなど、ほぼ全域で震度3～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

【注】各地の震度の詳細については、「岩手県で震度1以上を観測した地震」の表を参照。なお、使用した震源要素等は再調査により変更することがある。

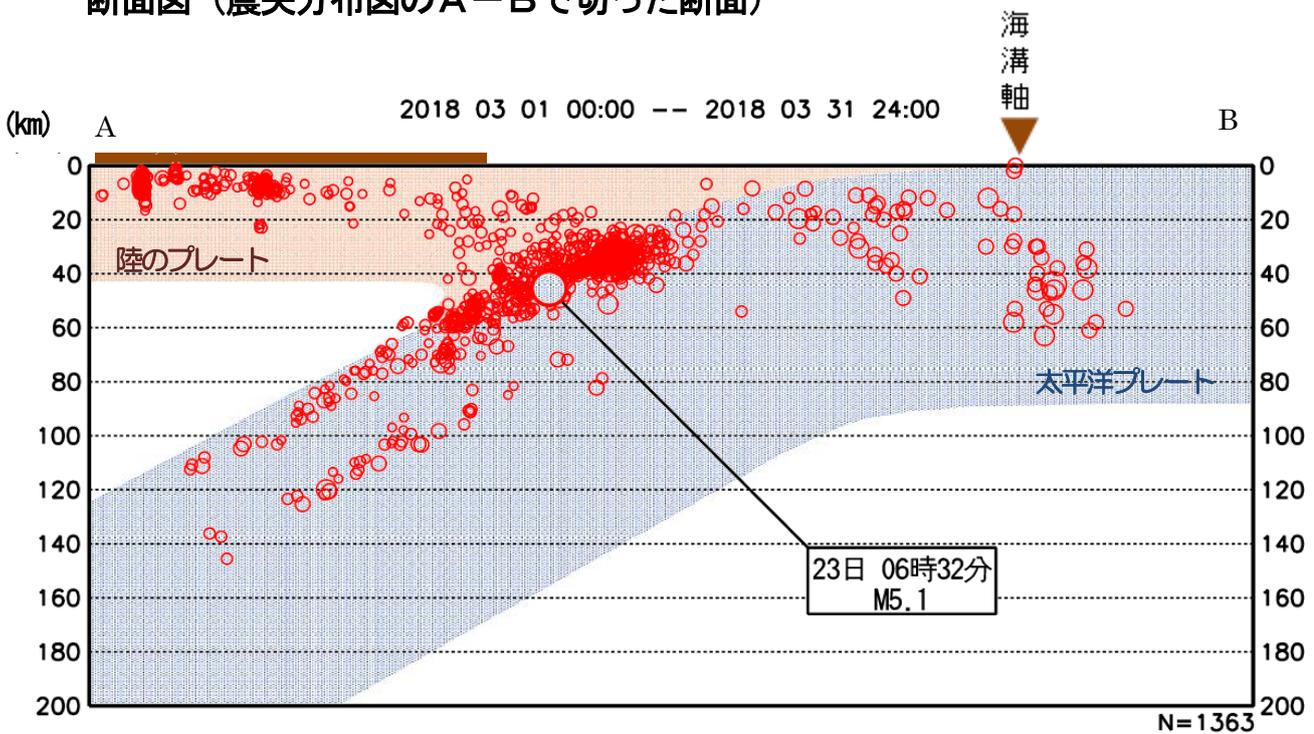
震央分布図

2018 03 01 00:00 -- 2018 03 31 24:00

N=1363



断面図（震央分布図のA-Bで切った断面）



※陸地から遠く離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど震源の深さ精度は良くない。断面図で見られる沖合の地震の震源は、実際にはより浅いところ（深さ10~30km）のものが多いと考えられる。

※ は陸地の大きな位置を示している。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大きなものである。

岩手県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2018年3月1日～2018年3月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2018年03月06日00時43分	宮城県沖	38° 56.8' N	142° 24.1' E	34km	M3.8
岩手県	震度 1	：大船渡市猪川町 住田町世田米* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町*			
2018年03月08日03時44分	宮城県沖	38° 52.9' N	141° 38.4' E	72km	M2.9
岩手県	震度 1	：一関市千厩町* 一関市室根町*			
2018年03月09日18時15分	陸奥湾	41° 10.7' N	141° 15.9' E	93km	M4.4
岩手県	震度 1	：宮古市田老* 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 久慈市長内町* 岩手洋野町種市 岩手洋野町大野* 盛岡市藪川* 二戸市福岡 二戸市石切所* 軽米町軽米* 九戸村伊保内*			
2018年03月12日15時40分	青森県東方沖	41° 08.9' N	142° 37.1' E	36km	M4.9
岩手県	震度 2	：盛岡市藪川* 八幡平市田頭* 軽米町軽米*			
	震度 1	：宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市田老* 久慈市枝成沢 岩手洋野町種市 盛岡市山王町 盛岡市渋民* 二戸市福岡 二戸市石切所* 二戸市浄法寺町* 岩手町五日市* 一戸町高善寺* 八幡平市大更 九戸村伊保内* 矢巾町南矢幅* 紫波町紫波中央駅前* 滝沢市鶴飼* 花巻市石鳥谷町* 北上市柳原町			
2018年03月14日12時41分	宮城県沖	38° 51.4' N	141° 36.6' E	73km	M3.3
岩手県	震度 1	：一関市千厩町* 一関市東山町*			
2018年03月15日05時40分	宮城県沖	38° 18.2' N	141° 53.1' E	46km	M4.2
岩手県	震度 2	：大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 住田町世田米* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			
	震度 1	：宮古市区界* 宮古市田老* 大船渡市盛町* 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 釜石市中妻町* 北上市柳原町 北上市相去町* 遠野市青笹町* 遠野市宮守町* 一関市大東町 一関市竹山町* 一関市花泉町* 一関市川崎町* 金ヶ崎町西根* 平泉町平泉* 奥州市江刺* 奥州市前沢* 奥州市胆沢* 奥州市衣川*			
2018年03月22日17時14分	岩手県沖	39° 23.9' N	142° 02.2' E	52km	M3.2
岩手県	震度 1	：釜石市只越町			
2018年03月23日06時32分	宮城県沖	38° 52.8' N	142° 04.6' E	45km	M5.1
岩手県	震度 3	：大船渡市大船渡町 釜石市中妻町* 花巻市大迫町 遠野市青笹町* 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*			
	震度 2	：宮古市長沢 宮古市区界* 宮古市田老* 宮古市茂市* 山田町八幡町 山田町大沢* 普代村銅屋* 大船渡市猪川町 大船渡市盛町* 陸前高田市高田町* 釜石市只越町 住田町世田米* 大槌町小槌* 盛岡市山王町 盛岡市藪川* 盛岡市渋民* 八幡平市田頭* 矢巾町南矢幅* 滝沢市鶴飼* 花巻市石鳥谷町* 花巻市大迫総合支所* 花巻市材木町* 花巻市東和町* 北上市柳原町 北上市相去町* 遠野市宮守町* 一関市大東町 一関市竹山町* 一関市花泉町* 一関市東山町* 金ヶ崎町西根* 平泉町平泉* 奥州市水沢佐倉町* 奥州市江刺* 奥州市前沢* 奥州市胆沢* 奥州市衣川*			
	震度 1	：宮古市鉄ヶ崎 宮古市五月町* 宮古市川井* 久慈市川崎町 久慈市枝成沢 久慈市長内町* 田野畑村田野畑 野田村野田* 岩手洋野町種市 岩手洋野町大野* 盛岡市馬場町* 二戸市福岡 二戸市浄法寺町* 雫石町千刈田 葛巻町葛巻元木 葛巻町消防分署* 葛巻町役場* 岩手町五日市* 一戸町高善寺* 八幡平市大更 八幡平市叭田* 八幡平市野駄* 軽米町軽米* 九戸村伊保内* 紫波町紫波中央駅前* 一関市川崎町* 西和賀町川尻* 西和賀町沢内川舟* 奥州市水沢大鐘町			

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2018年03月24日02時32分	岩手県沖	40° 03.4' N	142° 02.4' E	62km	M4.0
岩手県	震度2 : 八幡平市田頭*				
	震度1 : 宮古市川井* 宮古市田老* 田野畑村田野畑 田野畑村役場* 普代村銅屋* 岩手洋野町大野* 住田町世田米* 盛岡市藪川* 盛岡市渋民* 二戸市浄法寺町* 軽米町軽米* 九戸村伊保内* 遠野市青笹町* 一関市室根町*				
2018年03月29日00時23分	宮城県沖	38° 41.3' N	142° 05.0' E	49km	M3.1
岩手県	震度1 : 一関市千厩町*				
2018年03月30日01時30分	岩手県沿岸北部	39° 45.3' N	141° 50.6' E	58km	M3.7
岩手県	震度2 : 遠野市青笹町*				
	震度1 : 宮古市川井* 宮古市区界* 宮古市田老* 宮古市茂市* 久慈市枝成沢 岩泉町岩泉* 田野畑村田野畑 田野畑村役場* 普代村銅屋* 岩手洋野町大野* 大船渡市猪川町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 盛岡市藪川* 盛岡市渋民* 葛巻町葛巻元木 八幡平市田頭* 花巻市大迫町 花巻市大迫総合支所* 遠野市宮守町* 一関市室根町*				
2018年03月30日08時17分	茨城県沖	36° 26.5' N	140° 37.2' E	56km	M5.1
岩手県	震度1 : 一関市千厩町* 一関市室根町*				
2018年03月30日13時34分	宮城県沖	38° 55.1' N	141° 56.1' E	50km	M3.7
岩手県	震度1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 陸前高田市高田町* 釜石市中妻町* 住田町世田米* 遠野市青笹町* 一関市大東町 一関市千厩町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は岩手県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

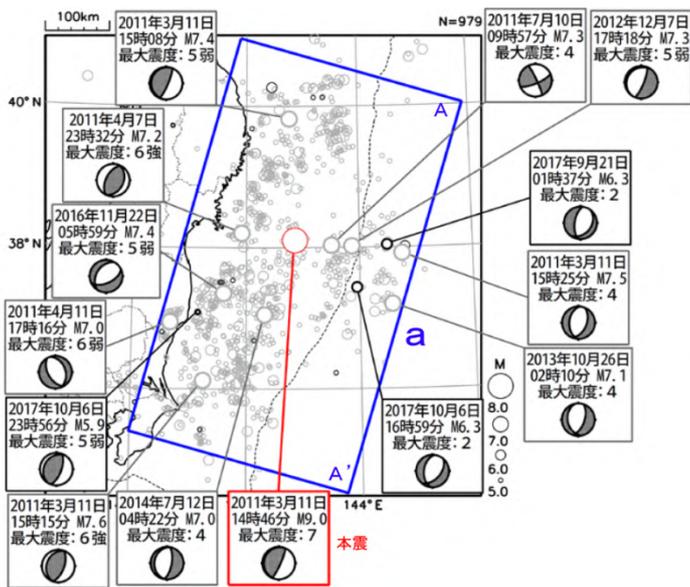
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」について ～ 7 年間の地震活動～

(余震活動の状況)

「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」(以下、東北地方太平洋沖地震)の余震活動は、本震当日に M7.0 以上の地震が 3 回発生するなど、本震発生直後から極めて活発な状態で推移し、余震域については岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲にわたっています。本震発生 6 年後の 2017 年 3 月 11 日 14 時 46 分から 2018 年 3 月 6 日までの約 1 年間(以下、今期間)での最大規模の地震は、2017 年 9 月 21 日に発生した三陸沖の地震と 2017 年 10 月 6 日に発生した福島県沖の地震(いずれも M6.3)でした。また、最大震度を観測したのは 2017 年 10 月 6 日に発生した福島県沖の地震(M5.9、最大震度 5 弱)であり、本震発生から 1 年毎に起算した結果、震度 5 強以上を観測する地震が発生しなかった年は、初めてのことでした。

余震域内で震度 1 以上を観測した地震は、本震発生後の 1 年間では 8,112 回でしたが、時間の経過と共に低下し、今期間では 514 回と 15 分の 1 以下にまで減少しています。しかし、東北地方太平洋沖地震発生以前である 2001 年から 2010 年に余震域内で震度 1 以上を観測した地震の年平均回数(306 回)と比べると 1.5 倍程度であり、余震活動は依然活発な状態が続いています。また、今期間は日本海溝付近及びその東側で M6.0 以上の地震が 3 回発生するなど、沖合でも時々規模の大きな地震が発生しています。



震央分布図 (2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分～2018 年 2 月 28 日 24 時 00 分、深さすべて、M 5.0)
東北地方太平洋沖地震の発生から 6 年後(2017 年 3 月 11 日 14 時 46 分)以降に発生した地震を濃く表示している。領域 a 内の M7.0 以上の地震と 6 年後以降の約 1 年間で最大規模の地震及び最大震度の地震に吹き出しをつけた。発震機構は CMT 解。
領域 a : 東北地方太平洋沖地震の余震域

領域 a (余震域) 内で発生した地震のうち震度 1 以上を観測した地震の月別回数 (2008 年 3 月～2018 年 2 月)

